

障害者の災害対策 チェックキット



国立障害者リハビリテーションセンター研究所
福祉機器開発部 福祉機器開発室

ワークショップ形式で学ぶ災害時の備え ～障害者から高齢者まで～



付箋紙タイプのシールを貼り替えながら、現状の備えを把握し、課題と今後備えるべきものをリスト化する



これまでに、全国頸髄損傷者連絡会や、大田区地域包括支援センター入新井などでワークショップを実施

自身の日常確認から 生活機能に適合した自助の備えを把握

備えカード一覧

①一般的な備え ②人的サービス・関係づくり ③コミュニケーション・情報収集 ④移動・交通

⑤飲食・健康・排洩 ⑥避難所・公共施設

「障害者の備え60選」を参考にワークショップを進める。排洩・褥瘡など、生活機能に合わせた備えが必須

自宅編 地震 ライフライン情報

日ごろ使用しているモノ・現在の備え

必要な備え

自助を徹底的に見直すことで、共助・公助に頼らざるを得ない部分が明らかになる